



2024年11月14日

各位

会社名 アズマハウス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 東 行男  
(コード番号:3293 東証スタンダード)  
問合せ先 常務取締役 真川 幸範  
(TEL.073-475-1018)

### 2025年3月期第2四半期(中間期)業績予想との差異に関するお知らせ

2024年5月15日に公表しました2025年3月期第2四半期(中間期)業績予想と本日公表の実績において差異が発生いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績予想と実績の差異(2024年4月1日~2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,700	450	400	260	32.31
今回実績(B)	6,685	687	653	445	55.37
増減額(B-A)	985	237	253	185	—
増減率(%)	17.3	52.7	63.5	71.4	—
(参考) 前連結第2四半期(中間期)実績 (2024年3月期第2四半期)	5,957	443	425	289	36.01

2. 2025年3月期第2四半期（中間期）の個別業績予想と実績の差異（2024年4月1日～2024年9月30日）

	売上高	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,983	307	210	26.10
今回実績 (B)	5,938	554	380	47.23
増減額(B - A)	954	247	170	—
増減率 (%)	19.2	80.3	81.0	—
(参考) 前第2四半期（中間期）実績 (2024年3月期第2四半期)	5,222	331	227	28.29

3. 差異の理由

2025年3月期第2四半期における業績の差異につきましては、次年度に販売を予定していた完成現場の販売に注力し、販売戦略の強化などを行った結果、完成現場の販売が予想以上にできたこととそれに伴い、工程管理も強化し、第3四半期以降に予定していた現場も完成し、販売できたことによるものだと考えています。また、今期の業績予想の策定において、過去の業績結果を考慮し、策定しておりましたが、前期より実施していた原価管理などの効果が表れてきたためであるとも考えています。しかしながら、更なる工程管理及び原価管理は実施していきますが、金利上昇などの社会情勢や市場規模などを考慮した結果、このような状況が継続させることは困難だと考え、業績予想の変更は行わないものとしたしました。

4. 今後の見通し

2025年3月期の業績予想について、修正等の変更が必要となった場合は、速やかにお知らせする予定であります。

以 上